

みずほCustomer Desk Report 2018/02/19号(As of 2018/02/16)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	106.29
TKY 9:00AM	106.09	1.2505	132.67	1.4101	0.7943
SYD-NY High	106.40	1.2556	133.10	1.4145	0.7988
SYD-NY Low	105.55	1.2393	131.83	1.3997	0.7893
NY 5:00 PM	106.31	1.2420	132.03	1.4028	0.7907
NY DOW	25,219.38	19.01	日本2年債	-0.1600	▲1.00bp
NASDAQ	7,239.47	▲16.97	日本10年債	0.0500	▲1.00bp
S&P	2,732.22	1.02	米国2年債	2.1916	0.51bp
日経平均	21,720.25	255.27	米国5年債	2.6266	▲2.00bp
TOPIX	1,737.37	18.10	米国10年債	2.8722	▲3.27bp
シカゴ日経先物	21,900	400.00	独10年債	0.7045	▲5.80bp
ロンドンFT	7,294.70	59.89	英10年債	1.5800	▲6.70bp
DAX	12,451.96	105.79	豪10年債	2.8935	▲1.00bp
ハンセン指数	#N/A	#N/A	USDJPY 1M Vol	9.85	▲0.40%
上海総合	#N/A	#N/A	USDJPY 3M Vol	9.37	▲0.28%
NY金	1,356.20	0.90	USDJPY 6M Vol	9.39	▲0.14%
WTI	61.55	0.21	USDJPY 1M 25RR	-1.78	Yen Call Over
CRB指数	193.58	0.12	EURJPY 3M Vol	9.48	▲0.54%
ドルインデックス	89.10	0.51	EURJPY 6M Vol	9.51	▲0.42%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月16日	16:00	独 卸売物価指数(前月比/前年比)	1月 0.9%/2.0%	-
	17:20	欧 クーレECB専務理事 講演 ガイドランスの変更、ECBは18年の早い時期に議論開始へ		
	18:30	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	1月 0.1%/1.5%	0.6%/2.4%
	22:30	米 住宅着工件数(前月比)	1月 9.7%	3.5%
2月17日	0:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	2月 99.9	95.5

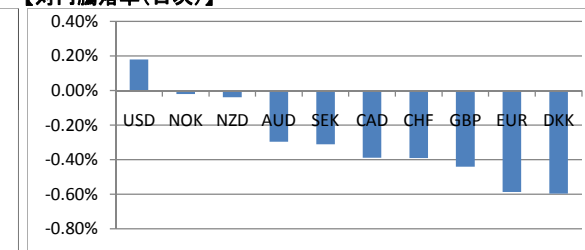
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月19日		米市場休場(プレジデントデー)		
	8:50	日 貿易収支	1月 -¥1020.2b	¥359.0b
2月20日	2:45	英 カーニー-BOE総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.80-106.90	1.2350-1.2500	131.50-133.50

【マーケット・インプレッション】

先週末金曜日のドル円は、週明けから続く上値の重い展開が続く中で東京時間に106円ちょうどを割り込むとストップを巻き込みながら105.55まで下落。トランプラリーほぼ全失となる水準まで値を下げたこともあり、同水準ではドルの買い戻しの動きが散見されたことに加えて麻生財務相の「為替の動向に緊張感もって対応」との発言も相俟って海外時間にかけて106円台を回復。米株も堅調推移を続ける中、ドル円は結局106.40まで上昇し106円台前半で越えた。本日のドル円は、米国休日で市場参加者が限られる中、特段目立った経済指標の発表も予定しておらず、大きな動きはなさそう。月初の米株急落を発端とするリスクオフの雰囲気も先週は米株が堅調推移を続けたこともあり、徐々に和らいでいる感もある。VIX指数も落ち着きを取り戻しつつある中、ドル円が一段と上昇する展開は考え難いが、下落局面も一旦は一巡したように感じる。本日のドル円は一定のレンジ内での揉み合い推移を予想する。

東京	東京時間のドル円は106.09レベルでオープン。高寄りした日経平均株価が上げ幅を拡大するのを横目にドル円は106.35まで上昇するも上値を試す展開とはならず106円台前半で推移。後場に入ると株価が下落する中、106円ちょうど付近のストップを巻き込み、さらに実需からの売りも散見されたことでドル円は2016年11月以来の安値105.55まで急落。その後は106円台を回復することなく105円台後半での推移となり、105.74レベルで海外に渡った。なお、政府が黒田日銀総裁の再任を国会に示すも、事前に報道されていたこともあり、反応は限定的となった。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は明日から米国が3連休であることから調整のドル買戻しが散見された。105.74レベルでオープン。ロンドン時間は週末や月曜の米国祭日(プレジデントデー)を控えたUSD買い戻しが優勢となり106.35まで上昇し、106.26レベルにてニューヨークへ渡った。なお、財務省、金融庁、日銀による3者会合が実施され、会合後に浅川財務官が「必要に応じて適切な措置を取る。」と発言した。ポンドは英景気への先行き懸念から下落した。1.4138レベルでオープン。1月英小売売上高が前月比0.1%(予想0.6%)とブレグジットを控えたポンド不安から輸入物価が上がっていたことや英経済先行き不安から消費意欲の減速傾向の継続が確認された。またドルの買戻し意欲も強くポンドは軟調推移となり、1.3997まで下落し、安値圏のままニューヨークへ渡った。(00531 444 179 ロンドン・トルフリー 西海)
ニューヨーク	本邦勢の年度末を控えたレバリの動きが外国人に意識される中、短期筋の売りが持ち込まれ、ストップを巻き込みながら、ドル円は2016年11月のトランプ氏の大統領選勝利後の上昇分を消し、105.55まで下落。しかし昨日の発言とは一転して麻生財務相が「為替市場の動向に緊張感もって対応」との発言が意識されたこともあり、その後はドルが買い戻され、106.26レベルでNYオープン。朝方は、米1月住宅着工件数が予想を上回ったものの、ドル円の反応は限定的となる。その後は引き続きドル買いが継続したことから、106.37まで戻す。その後、米2月ミシガン大学消費者マインドは予想を上回ったがドル円の反応は薄く、株式市場が上昇する中、ドル売りが優勢となり105.92まで反落。午後は連休を控えた調整と見られるドルショートカバーに高値106.40まで戻し、106.31レベルでクローズした。一方、ユーロドルは1.2556まで上昇するが、その後は週末を控えた調整売りに下落し、1.2474レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ1.2429まで下落する。その後はドル売りが優勢となり1.2460まで値を戻すものの、NY午後には一段とドル買戻しが優勢になったことから安値1.2393まで反落。しかしこのレベルでは買い意欲もあり、1.2420レベルでクローズした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 鶴田・田家